

はじめに

5月とは思えない、猛暑が連日続きました。皆様におかれましても、大変、お疲れが出やすい、そのような時期を迎えたのではないかと思います。特に子どもたちは、大人に比べて体温調整や健康管理を自主的に行うことが出来ないことがありますので、子どもの状態をしっかりと見て頂き、適度に休憩や水分補給を心がけて頂ければと思います。

また、幼稚園生活においても、熱中症対策のために、テント二機の設置をするとともに、帽子の着用、水分補給をすすめてまいりたいと思います。

ちょっとずつを繰り返す

幼稚園の中で、とても人気があるのは、「バイク」です。すべての学年の子どもたちに愛されているバイク……。そんなバイクで遊ぶ姿をみながら……。あ、ここにも、子どもたちの今の姿が、よくあらわれているなあと、素直に感じました。

例えば、年少さんは、バイクの台に足は乗せずに、両足でまたいで、バイクを押します。年中さんは、片足を台に乗せて、もう片方の足で地面を蹴りながら前に進みます。それを見た年少さんは、それを真似して頑張りますが、台に足を乗せず、台をまたいでスキップみたいに走り出します。年長さんは、助走をつけて、両足を台に乗せて、スイスイ進みます。



もちろん、発達には、個々人の個性ですから、すべての人が、これに当てはまるわけではありませんし、バイクの乗りこなしに正解も不正解もないと思います。どんな姿であっても、今、この瞬間こそが、一番の姿であることは変わりません。

そのことを踏まえたくて、バイクに乗る子どもたちの姿を通して、できることからちょっとずつを積み重ねていきながら、人は成長するのだなあと、教えられたような気持ちになりました(^▽^)/

私達は、どうしても、良い結果だけを期待してしまうかもしれません。特に、即自的な満足感が多く求められる、この時代は、ますますそういう傾向が強くなっているかもしれません。

ただし、子どもの育ち、あるいは、保育や教育は、結果を示す「点」ではなく、その結果に至る「線」が大切なのだと思います。そこには、ちょっとずつでも、できていく達成感を喜ぶ姿もあれば、失敗して悔しいという姿もあります。その一つ一つの積み重ねが線となり、それぞれの個性を発揮した「結果」を生み出すのです。だから、たとえ結果が、どうであっても、その過程を知っているからこそ、子どもをより愛おしく感じるものなのだと思うのです。「失敗したらダメ！」ではなく、「ここまでよく頑張ったね。素敵だね(o^ー^o)」と言えるのは、この線を知ることから始まるのではないかなと思うのです。



エピソード

私が越谷幼稚園の園児の時、保育後や日曜日（礼拝の日）の遊び場と言え、園長先生のおうち（園舎3階）でした。

ある日、園長先生のおうちに入るための「あの重い鉄扉」に、小指を挟んでしまったことがありました。出血はありませんでしたが、小指がペコッとへこんでしまったのです（修理済みです）。

大泣きしながら職員室に駆け込んだ私はこう言いました。「指が～指が～『こんとあき』になった～(；▽；)」

皆さんご存じでしょうか。名作「こんとあき」で、ぬいぐるみのシッポが電車のドアに挟まれて、ペコッとへこんでしまった、あの名シーンを！自分のへこんだ指を見て、その絵本の描写を思い出したのです！そんな私の姿を見て、心配するよりも先に、笑った先生たちがいたことは、ここでは責めませんが……。忘れもしません(笑)

絵本は、どうしても、読むこと・聞くことに集中してしまうこともありますが、実は、視覚教材として「絵」も同じくらい大切なのです。子どもたちは、その絵から、ストーリーを飛び越えて新しい世界を作り上げることができます。まさに、感性の宝箱が、絵本の「絵」の部分にもあるのです。幼稚園には、沢山、素敵な絵の絵本があります！ぜひ、ご利用ください！因みに個人的には、「11びきのねこ」シリーズがおすすめです！実は、あの絵本には、その「絵」に子どもを引き付ける細かい工夫があるのに、数年前に気づいてしまいました！そのお話は、またいずれ！

2023年6月1日

園長 須賀 工